

OECD × CHUO University

* チーム紹介 * (代表: 三原沙也佳)

私たちは、所属しているところも学部もバックグラウンドも、異なる個性豊かな中央大学生です！

それぞれ過ごしてきた環境、学んできたことは違えども、「OECDの学生大使として継続的な活動を通して大学生のみならず様々な年代に向けて広く広報活動をしていきたい」という想いは同じです。それぞれの所属が異なることにより、各々の知識を寄せ集め、広報活動も広く行え、様々な人脈を生かすことにより活動の内容や範囲は無限大です。また、5人という人数を生かしてフットワークが軽いため、考えを行動に移すのは容易です。

以下、メンバーの紹介と、OECDにかける想いです！

リーダー

三原沙也佳 (みはらさやか/経済学部公共環境経済学科 3年)

研究分野：経済学、FLP 国際協力ゼミ(国際協力・途上国支援)

課外活動：長期インターンシップ・海外インターンシップ、短期留学
テニスサークル(渉外)・塾講師(バイトリーダー)



昔から海外に興味があり昨年初留学で初海外(オーストラリア)を経験しました。初めての海外経験は同じ先進国でも日本と異なることがあまりにもたくさんあると気付きました。今までは国と国との関わり方に焦点を当てることはありませんでしたが、国際社会での日本のあり方を日本の視点から見るのが大切だと気付きました。それらをゼミナールの中で取り扱った「OECD」の現状と課題とともに考えていこうと思いました。私のように OECD の名前を知っていても、どのような機関で、何をしているかなど詳しい学生は少ないのが現状です。したがって、そうした学生と OECD の架け橋として活動していきます。私は大学生活で様々なことに取り組み、意欲的に行動してきました。この体力とハングリー精神を生かし、OECD 学生アンバサダーとして、上限を設けない活動の場において、OECD の今後のあり方をたくさんの人と考えていきます。

矢野紘太郎 (やのこうたろう/法学部国際企業関係法学科 3年)

研究分野：スマートシティ・サイバーセキュリティの国際法・サイバー戦争におけるスマートシティ
東南アジアの国際政治・EU 法

課外活動：外交官試験受験団体(幹事)・第 39 回国際学生シンポジウム委員長
日本学生会議所(UNISC)・インターンシップ(衆議院議員事務所)



物事を進める立場に立つことが多く、適材適所でグループのポテンシャルを最大にすることを意識してきました。小学生から外国や国際関係に興味があり、語学を主として勉強してきました。頭で考えるときに自分が話す言語を使っているということに関心を持ち、外国人と話をするとき相手のことを理解しやすいのは自分が外国語を理解できることが重要だと考えています。また、大学に入って実際に国際関係の勉強をするようになり、今起きていることを分析し予測を立てることに魅力を感じました。その勉強をしている中で国際機関などに実際に足を運んで、机上の理論だけではない実際の部分を知ることで、世界に向けられた利益をどう生み出すか熟考することができています。以上の経験を生かし、OECD 学生アンバサダーとして活動に貢献していきたいです。

岩田夏実（いわたなつみ/商学部商業・貿易学科3年）

研究分野：開発援助、FLP 国際協力ゼミ(国際協力・途上国支援)

課外活動：日本模擬国連・なんプロ！学生レポーター



高校時代から今に至るまで模擬国連という活動に参加していることがきっかけで、OECD のことは高校時代から知っていました。模擬国連では、1人1人が1か国の大使になりきって実際の国際会議をシミュレーションします。会議に参加する際には、信頼のおける情報かつ様々な国のあらゆる分野を取り扱う OECD の統計を活用させていただきました。しかし、本来は学問を究める大学生こそ大いに活用すべきだと考えています。OECD 学生アンバサダーを通してそのきっかけづくりに少しでも貢献したいです。

また、昨年度から JICA・UNDP・JANIC が実行委員会となっている「なんとかしなきゃ!プロジェクト」の学生レポーターとして選ばれ、約1年活動してきました。レポーター活動で培った「伝える力」を、OECD 学生アンバサダーにも生かしたいです。

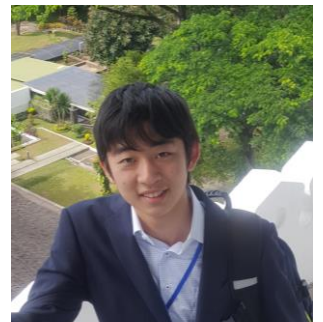
平田礼王（ひらたれお/法学部国際企業関係法学科3年）

研究分野：中国語・リスク/セキュリティの政治・政治理論・開発援助

FLP 国際協力ゼミ(国際協力・途上国支援)

課外活動：アジア法学生協会・バレーボールサークル所属・街頭募金活動

ボランティア活動・バレーボールコーチ/公式審判員活動



小学校時代から高校まで、UNICEF やあしなが育英会が行う街頭募金活動に参加し、世界の貧困や突然貧困になってしまう現実について、子供ながらも考える機会が多くありました。また大学生活ではアジアに支部を持つ「アジア法学生協会」に所属し、社会問題などを話し合うディスカッション活動、加えて日本支部の運営を主に行ってきました。海外支部との関わりでは、日本支部の立場を伝える総会に出席することで何にでも物怖じしない力を養うことができました。一方で文化交流などを通して多くの友人を持つことができ、アジア諸国内の格差や文化の相違を再認識しました。

三浦真優（みうらまゆ/商学部商業・貿易学科3年）

研究分野：貿易・流通

課外活動：中高部長・テニスサークル所属(副会長)



OECD についてはレポート等で統計データを利用していましたが、国際機関の一つという程度の認識でした。しかし、OECD のセミナーに参加してから関心が深まりました。

知り合いの先輩が学生大使としてプレゼンしていたこともあります。OECD の目的や実際の活動を詳しく知ることによって身近な存在になりました。また自分自身が先頭に立って色々なことを企画したり実行してみたい私にとって、OECD の広報という目的で自分達が自由に企画し、それを実行できることに非常にやりがいを感じました。人見知りをせず、人と関わるのが得意なので、それを活かして、幅広い年代や様々な人にOECDを知ってもらえるよう、是非とも参加したいです。